



学校だより 11月号

令和7年10月31日発行

ふるさとに学び ふるさとで遊び ふるさとを愛する子 ～ふれあいがやき豊かな心～

心温まる、かもリンピック（運動会）を終えて

副校長 飯島 里香

秋寒の候、突然訪れた寒暖差の大きい日々ですが、本日も、子どもたちは寒さに負けずに登校してきてくれて、教職員一同、頼もしく感じております。

学校行事の中でも大きなイベントである「かもリンピック（運動会）」が無事に終了し、また通常の学校生活が戻ってきました。このイベントに際しては、多くの保護者の皆さまや地域の方々にご支援いただきましたことを心から感謝申し上げます。

運動会を迎えるにあたり、子どもたちは、それぞれに様々な思いをもちながら取り組んでいました。運動が得意な子、逆に少し苦手な子、みんなと合わせることが好きな子、一緒にやるのは苦手な子。しかし、どの子も友達や先生、保護者・地域の方々からの温かい声援に支えられ、最後まであきらめずに自分の力を存分に発揮することができました。たとえば、徒競走では自分の可能性を信じて全力で走りきり、演技では友達と息を合わせて見事に表現しました。また、応援団やリレー選手は日々の練習を生かし、素晴らしいパフォーマンスを披露してくれました。さらに、開会式や閉会式などの運営に携わったり、運動会を盛り上げるために旗を作ったりするなど、鴨志田緑小学校の全員が一丸となってこの大切な行事を支え、盛り上げることができました。

このような経験を通じて、私は「自分の可能性を信じ、かも、思いも出し尽くすこと=チャレンジ」に大きな価値があると感じています。もちろん、スポーツなので勝敗に注目する方もいらっしゃるでしょう。それもよいのですが、私は、どんなことにもチャレンジする姿勢こそが大切で、美しいことだと思っています。また、同級生や異なる学年の仲間たちと力を合わせて何かに取り組むことは、学校生活の醍醐味のひとつです。時には気持ちが乗らなかったり、意見がぶつかり合ったりすることもあるかもしれませんが、そのような経験こそが子どもたちの成長を促し、協調性を育てていくのだと感じています。大きな行事を乗り越えた子どもたちには、是非とも自信をもって、次のチャレンジを見付けるステージに臨んで欲しいと思います。

引き続き、温かいご支援とご協力をいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

